

メイドのおっぱい。。







めちやくちや  
頼んだら見せて  
もらえるかもよ?

動画撮らせて貰って  
俺にも見せてくれよ  
優太!

む…  
無理だよ  
そんなのっ!



優太はイイよなあ  
家に美人のメイドさん  
居てさ

ウチなんか女は  
母ちゃんくらいだし

え…?  
ミサトさん…?



あーあ  
どっかにアソコ  
見せてくれる女  
いねーかなー!

っっていうか  
彼女欲しー!  
セックスしてえー!

あはは…

居て当然って感じで  
そんなふうに見たこと  
無かったけど…

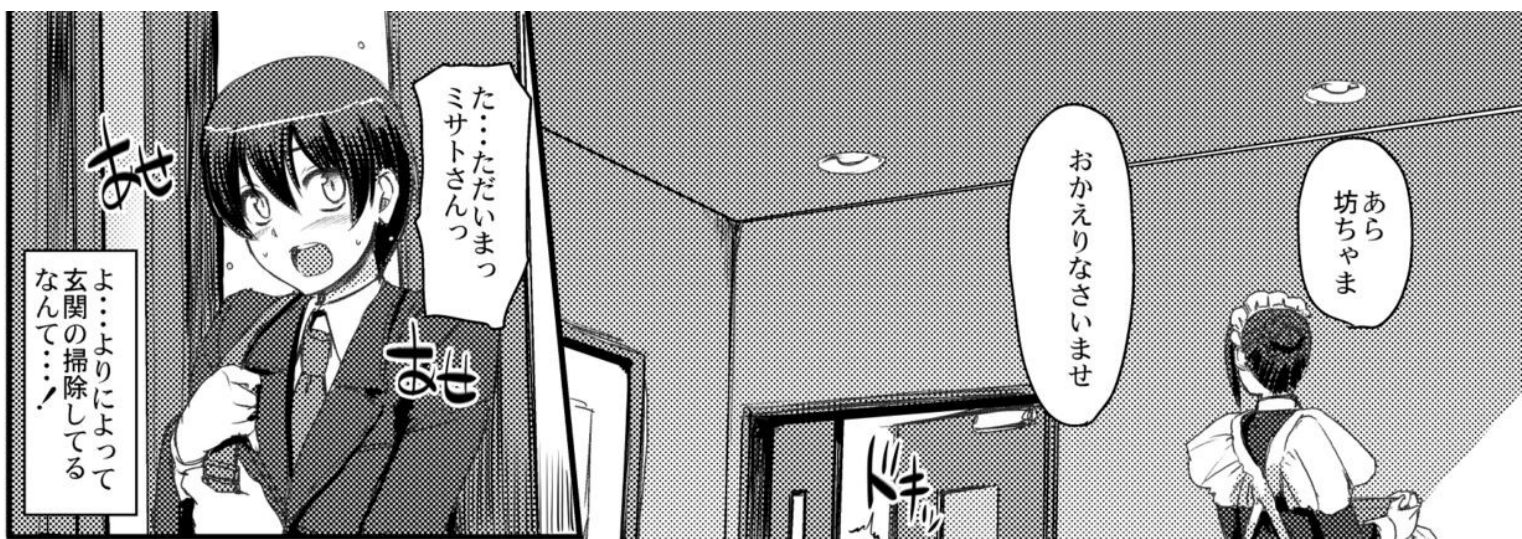
確かに言われてみれば  
結構美人だよな…  
ミサトさん…

美里 加奈子 (35)

そういえば…  
小さい頃からうちに居て  
お世話してもらってたから…

メイドのおしごと。





あら  
坊ちゃま

おかえりなさいませ

た…ただいまっ  
ミサトさんっ

ませ

よ…よりによって  
玄関の掃除してる  
なんて…



また寄り道して  
来られたんですか

この時間だと  
夕食に差し障りますので  
おやつはガマンして  
くださいね



じ…じゃあそれまで  
ゲームでも  
してようかなー

ちゃんと  
宿題もしなきゃ  
ダメですよ

お手伝いは  
できませんからね

よかった…！  
気付かれなくてっ…！



お腹が空いている  
ようでしたら  
早めにご夕食を  
準備しますけど…

う…ううんっ  
いつもの時間で  
大丈夫っ！





襲いかかるなんて  
絶対無理だし…

ましてや覗く度胸すら  
ないのに…



はずなのに…



佳祐に言われたことが  
頭から離れなくて…

ついミサトさんが  
入ってるお風呂場まで  
来ちゃった…



あっ…



いや…やっぱり  
そんなのエロ本  
中だけだよ…!

嫌われて…  
口も聞いて  
くれなくなつて…  
きつと父さんにも  
言いつけられる…!



この扉を開けて…  
佳祐の言う通り  
ミサトさんに  
頼み込んだら…

もしかして…アソコ…  
みせてくれるかな…





ミサトさんの…  
下着姿…

良いですよ…  
坊ちゃま…

…!!



ミサトさん…  
明日はこの下着で  
過ごすんだ…

明日のミサトさんの  
メイド服の下は…  
こうなってる…



僕は…  
ミサトさんの  
中につ…

はあっ

ミサトさ…  
んっ…

はあっ



その時は…

はっ

きつとミサトさんも…  
あのビデオみたいに  
大声出して…感じて…

はあっ

はあっ



したい…  
セックス  
してみたい…!

ふっ

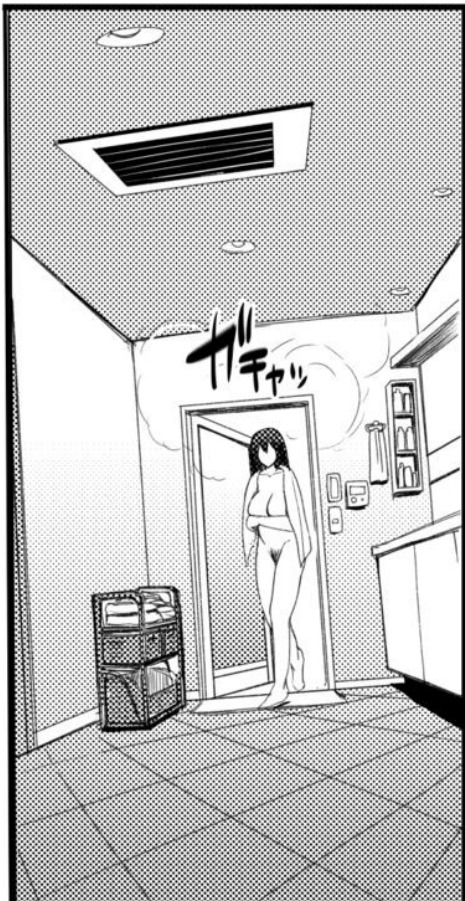
ミサトさんと…  
セックス…!

ミサトさんの  
アソコに…

ふうっ

ふっ

おちんちん  
入れてみたい…!





あれ…？

脱いだ下着と  
替えの下着が  
逆に…



私こんな  
置き方したっけ…



これ…

精液…？





怒られるかな…

やっぱり昨日の事…  
気付かれてるよね…

どうしてあんなこと  
しちゃったんだろ…  
僕…



…

カチヤ



はあ…

顔…  
合わせづらいな…

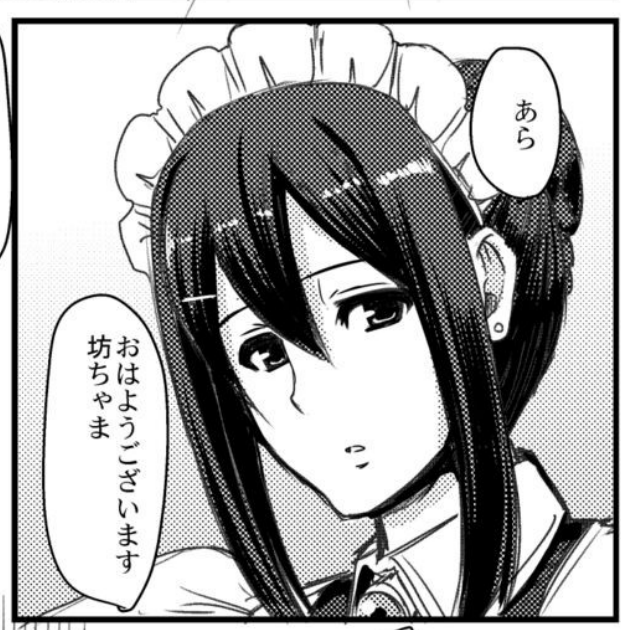


あつ…!

お…おはよう…  
ミサトさん…!

何してるんです?  
早く朝食を  
召し上がらないと  
遅刻しますよ

もしかして  
ミサトさん…  
気付いてない…?



あら

おはようございます  
坊ちやま



ベッドの下とは…



さて…と…



なんとまあ定番の  
隠し場所ねえ…



いってきます!

はい  
お気をつけて  
行ってらっしゃいませ

助かったあー

やっぱり  
脱いだ下着なら  
汚しても  
気付かないんだ…!

坊ちやまも  
こんなモノを読む年頃  
になったのね



となると昨日の一件は  
やっぱり坊ちやまで  
間違いない…か…

坊ちやまの歳なら  
女性の身体や  
セックスに  
興味を持つのは  
おかしくないし…



別段コレに関しては  
そつとしておく  
つもりだけど…

対象が  
私というのは  
少々問題ね…

坊ちやまみたいな子供に  
お風呂を覗かれても  
下着をイタズラされても  
どうってことないけれど…

かといって  
変に受け入れて  
エスカレートしても  
面倒よね…



でも直接叱りつけて  
ギクシヤクしても  
これからの仕事…  
やりづらいし…

旦那様に相談して  
お任せするのも…  
それはそれで  
気まずいし…  
ちよつと  
可哀想だし…

一体  
どうしたものやら…

まあ  
お年頃の子の性なんて  
繊細な問題だし…

もうちよつと様子を  
みてみようかしら…

ところが  
そんな私の  
期待は虚しく…

坊ちやまは  
あれから毎晩  
入浴中の私の下着で  
イタズラするように…

それでも  
そのうち飽きるだろうと  
見て見ぬフリを  
続けていたある日…



昨日の一時の  
気の迷いかも  
しれないし…





替えの下着に  
イタズラするなんて…

これはもう…  
パレるのをわかってて  
私を試しに来てる…

ここまでされたら  
黙っていて  
あげられないじゃない…

面倒だけど…  
そろそろ面と向かって  
叱るしかないわね…

ふん



ごめんなさい…  
ミサトさん…



旦那様にも  
何かあったら  
キチンと叱るように  
言われてるものね…

坊ちやま

お休みになる前に  
少々お話があります



今日坊ちやまが  
したことは  
あまりにも自分勝手に  
一方的な相手を  
傷付ける行為ですよ

お互いの同意の上で  
行うことです



もう少し坊ちやまが  
大きくなつて  
心を通わせる女の子と  
出会って

女性の  
身体に触れたり、  
セックスしたりと  
いう性行為は



坊ちやまもお年頃の  
男の子ですから

そういうコトに  
興味が沸くのは  
決して悪いことでは  
ありません

でも今日の事は…  
やってはいけない  
事だということはい  
わかりますよね？

…



でも…どうせ嫌われるなら…  
いつそ…!

もうだめだ…  
ミサトさんに完全に軽蔑されてる…

ほ…僕…!

おかしくなっちゃったんだ…!



エッチなビデオみたいなのが  
都合のいい展開期待して  
やっつたんだろうし…  
とても言えないわよね…

どうせ下着にイタズラされた事に  
私が興奮して…なんて

それは…  
その…

あの…



どうしてこんなこと  
したんですか  
坊ちゃま…?

あ…  
この叱り方は少し  
イジワルすぎたかな…



最近…  
女の子の事ばかり…  
エッチな事ばかり…  
考えるようになって…

こんなこと  
自分でもダメだって…  
わかっているのに…  
全然やめられなくて…

本とかで…  
なんとかしようとしても…  
見たい所は隠されてて  
見れないし…

だから…その…  
なんとかして…



すごく答えに困る  
最低な告白を  
引き出してしまったわ…

しまった…

まさかこんな正直に  
直球で来るとは…

こういう場合  
なんて答えたら  
傷つけないかしら…



ミサトさんに見せて  
もらいたくて…!

ミサトさんとセックスしたくて  
こんな事をして  
しまいましたっ!

ごめんなさいっ!

このままじゃ僕  
きつと変態に  
なっちゃうよっ！

お願いします  
ミサトさんっ！

アソコ…  
見せてくださいっ！

た…  
畳み掛けてきた…

…最低なお願いで…

私はただのメイドだし…  
母親って訳でもないから…  
この子がこの先どう育とうと  
関係は無いんだけど…

このまま  
変に傷つけたら  
いろいろと歪んで  
しまいそうだわ…

赤ん坊の頃から  
面倒を見るから  
親しみがあるのは  
確かだし…

正直こんなおぼさんの  
アソコを見せるくらい  
どうってことないんだけど…

それはさすがに  
一線を超えてしまう  
気もするし…

でも…  
これからもっと  
おかしい方向に  
性欲が向いても  
厄介だし…

ああもうこんな子供の  
性教育に悩まされるなんて  
メイドの仕事じゃないわよ…  
うーん…

…坊ちゃま

それじゃあ  
私とお約束  
してください

まず…  
下着にイタズラするのは  
もうやめること



絶対約束するよ  
ミサトさんっ…!!

う…うんっ!  
約束する…!!

このまま  
興味をこじらせて…  
もし同級生の女の子に  
悪さしたりしたら  
大ごとだものね…

ひとまずこれで…  
落ち着いてくれる  
でしょ…



そして  
もう一つ

今日のことは  
誰かに話したり…  
お友達に自慢  
したりしては  
いけません

明日には忘れて  
お互い  
今まで通りに  
過ごすこと

その2つのお約束を  
絶対に守れるなら…

今日は特別に…  
見せて差し上げます…



キキ  
まあ初めて見るアソコが  
四十手前のメイドのも  
使い古しつていうのも  
ちよっと可哀想な  
気はするけれど…



わかりました

私が少し見せて  
解決するのであれば  
お安いものだわ…

どうせあと  
2〜3年もすれば  
彼女でも出来てちゃんと  
経験する事だろうし…





これで  
よろしいですか？

冷静に考えると  
とんでもないこと  
してるわね私…

やっぱりただ  
叱りつけておしまい  
が正解だったんじゃ…

もわ、



この年頃の  
男の子の性欲って…

ホントに目の前で  
始めるなんて…

はあっ…

はあっ…

こんなに  
キリがないもの  
なのかしら…



見ながら…  
ひとりするのは…

じ…じゃあ…  
その…

…今日だけ  
ですからね

…



ね…ねえ  
ミサトさん…

触ってみても  
いい…？

もわ

もわ

ダメです

見るだけで  
我慢なさって  
ください

今のこの子にとつて  
あくまで私は……

無修正のエッチ本  
みたいなモノ  
なんでしようけれど……

まさか私も  
こんな歳の離れた  
若い男の子に……

はっ……

まだまだこんな  
あどけない顔して……

私とセックスする妄想で  
オナニーしてるのかしら……

はっ

はっ

はっ

ちよつと  
悪い気は  
しないかな……

まあ……  
一人の女と  
しては……

こんなにも必死に  
求められるなんて  
思つてもみなかったわ……

あっ……

ミサト  
さん……

ちゅっ  
ちゅっ  
ちゅっ

ミサトさんっ……  
もう僕イキそうっ……!

イクっ……  
イクよっ……  
ミサトさんっ……!

もう……  
そんな所に  
出しちゃつて……

あうっ……  
あうっ……!

はっあっ……!

あとで掃除しなきゃ  
いけないじゃない……

ずいぶん出るわね……  
少なくとも今日  
2回目のはずなのに……

ビクッ  
ビクッ  
ビクッ  
ビクッ



ねえっ！ やっぱりそうでしょう？ したいんだよねっ！

な... そんなわけっ...

ミサトさんも 僕とセックス...



もしかして... 濡れてるってこと...？

アソコから透明な汁 出てるの...



まあここまで してあげれば...

中学生には 充分でしょ...

はあ...

ねえ... ミサトさん...



ダメです 坊ちゃま...！ 見るだけだと お約束を...

失態だわ... まさかこんな子供に 見られて 濡れるなんて...

セックスしないなんて 約束してないよっ...！ ミサトさんお願いっ！



お願いっ ミサトさんっ！ 僕やっぱり最後まで してみたいよっ！

今日だけだからっ！

絶対誰にも 言わないからっ！

これで おしまいなんて やだっ！

誰にも言わないのは 約束したけどっ

なんとなく予想は してたけどやっぱり こうなっちゃったわね...



お願い ミサトさんっ！

もうこうなったら 男の子は 止まらないわよね...

ねえっ ミサトさんっ！

ちゃんと約束 守るからっ！



...いいですか坊ちゃま 妊娠を目的としない セックスには避妊具を 使わないといけません

坊ちゃまお持ちでは ないでしょうか？

じゃあ僕 今から買って くるからっ！

それなら いいでしょ？！ ねっ？

いけません！ こんな時間に 外に出るなんて...！

ダメだわ...

コンドームは…  
外出用の化粧ポーチに  
何個か入ってたはず…

はあ…

今夜限りだし…  
もうさっさと  
済ませちゃおう…

本当に…  
今夜だけです  
坊ちゃま

支度して  
参りますので

来客用の  
寝室でお待ち下さい

ミサトさんがなぜ  
コンドームを持ってたのか  
って事を考えて…

なんとなく  
ちよっぴり凹んだのは  
後日のこと…

その時の僕は…

本当に良いんですね  
坊ちゃま…

はじめてのセックス…

私みたいな  
おぼさんのメイドが  
初めての相手…

うん…

ミサトさんとの  
セックスのことで  
頭がいっぱいだった…







ミルクもあげて  
おむつも替えてた  
男の子と…

まさか本当に  
セックスする事に  
なるなんて…

あーあ本当に  
挿れちゃったわ…

あああ  
あああ  
あああ



それにしても  
こんな細くて小さいと  
私のアソコ…  
ユルくないかしら…

いつもよりちよつと…  
強めに締め付けて…

それじゃあ  
動きやすね  
坊ちやま

ま…まって…  
ミサトさっ…!!



あああ

ちよつと  
ちよつと  
ちよつと

ピッ

ピッ

ピッ



はい  
そのままどうぞ  
坊ちやま

だめっ！とめてっ…  
あつ！あああああつ！



あつ！ああつ！あつ！  
ミサト…さんっ！  
なにっ…これっ…  
だめっ…！

良かった…  
ちゃんど気持ちいい  
みたいね…

溶けるっ…  
溶けちゃうよっ…！

あつ！ああつ！  
きもちっ…きもちっ！  
あつ！出ちやっ！  
出ちやうっ！ミサトさんっ！

って…  
もうイクんだ…  
まあ楽しいけど

アッ  
アッ  
アッ  
アッ  
アッ  
アッ  
アッ  
アッ  
アッ  
アッ





とつても感じてしまいました

…はい

もう少し上手に嘘ついてよ…

ミサトさん…



ね…ねえ…ミサトさんは感じた…?

僕のおちんちん気持ちよかった…?



ううっ…ミサトさんのアソコ…気持ちよすぎて…

ワケわからないうちに終わっちゃった…



あ…あれ…これ…逆…?

う…うん!

ち…ちよつとまって…

私にとつて…



今度は絶対ミサトさんも気持ちよくするからっ!

もう一回つ…良いでしょミサトさんっ!

やっぱりあんな短いセックスで、はいおしまいじゃ満足してくれないか…

少し甘やかし過ぎな気もするけど、まあ今夜限りだし…

もう少しくらい自由に使わせてあげようかな…



焦らなくて良いですよ

コンドームには向きがあつて…

そう…そのまま爪を立てないように根本まで…

ちゃんとコンドームを付けてからですよ、坊ちゃん

今日のセックスは、ただの性教育…



ほ…  
僕の彼女に…

それなら…  
ミサトさんが  
なつてよ…

坊ちやまにとっては  
初めて女性と肌を重ねる  
大事な日なのよね…



坊ちやまの宿題を  
手伝うのと…

キチンと付けられないと  
坊ちやまに恋人が  
出来た時困りますからね

…

なんら  
違いはないけど…



傷付けないように  
できるだけ優しく…

大変光栄な  
お申し出ですが…

けれど一線は  
引いて…

私はもう少し  
大人の男性が  
好みですので…

さあ坊ちやま…  
挿れてみて  
イイですよ

それがきつと…  
今夜の私の…  
メイドのおしごと…



んううっ…!



うんっ…

はっ…  
うっ…



うん…

あつ…はつ…  
うっ…ううっ…



あつ…ああつ…  
気持ちいいっ…  
ミサトさんの  
アソコ…

ミサトさんはっ…  
ミサトさんは  
気持ちいいっ…？

はい  
坊ちやま

ではそのまま  
腰を動かして  
出し入れしてみ  
て下さい

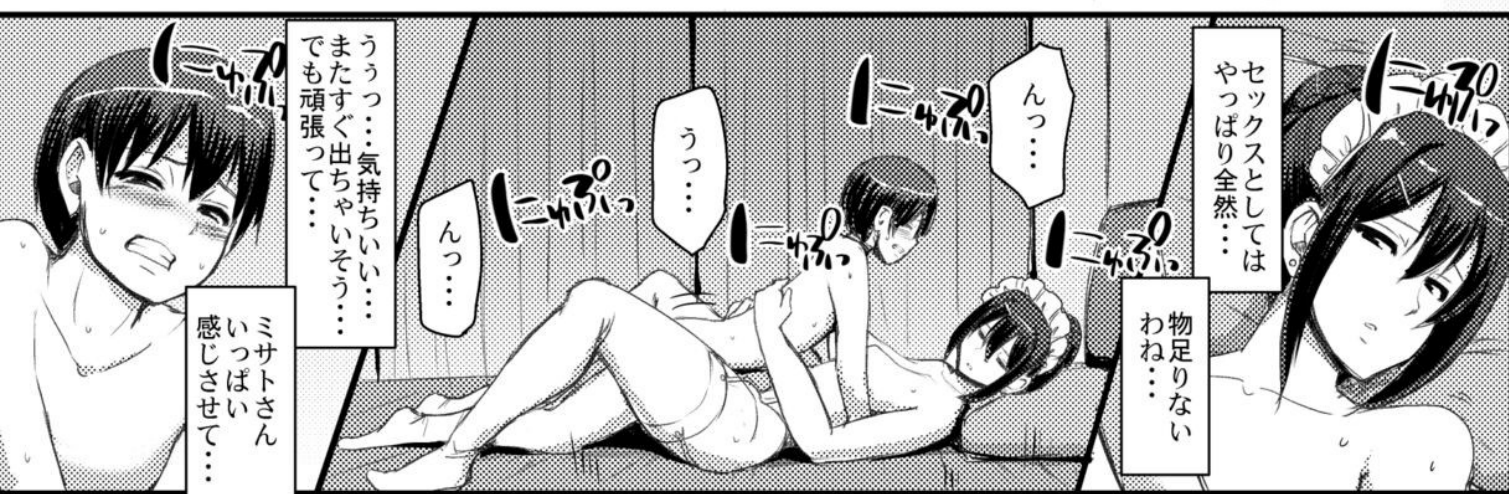


初体験の膣の刺激に  
必死に耐えながら…

どうにか私を  
感じさせようと  
一生懸命に腰を振る  
姿はなんだか  
可愛らしいけれど…

はあっ

うっ



セックスとしては  
やっぱり全然…

物足りない  
わね…

んっ…

うっ…

ううっ…気持ちいい…  
またすぐ出ちやいそう…  
でも頑張つて…

ミサトさん  
いっぱい  
感じさせて…



せめてもう少し  
長さがあれば…

イイところ…  
当たりそう  
なのに…

はあつ…

はっ…

あつ…！

また僕と  
セックスしたいって…

思つて  
もらわなきゃ…！









でもまあ  
イケる程じゃ  
ないわね…

坊ちゃま寝たら…  
オナニーしようかな…



入り口のあたり…  
程よくかき回されて…

きもち…  
いっ…

ちよつと  
気持ちいいかも…

あぁっ…!

ミサトさんの…  
ナカっ…



僕の…  
小さくてっ

ごめんねっ…  
ミサトさんっ…

セックス…  
ヘタでっ



ミサトさんがいっぱい  
声出るくらい…

感じさせて  
あげたいのにつ

僕ばかり…  
気持ちよくてっ

私…いつもそんなに  
声出さないんだけど…  
エッチなビデオの  
影響なのかな…

あぁっ…  
あぁっ…

自信喪失させても  
可哀想よね…  
ちよつと合わせて  
あげようかしら…



んっ…あっ…  
お上手です…

坊ちやま…  
あっ…

ミサトさん  
感じてるっ！

エッチな声  
出てきたっ！

もう少しだっ！  
頑張らなきゃっ！



でも…  
そろそろ終わりに  
させて貰うわね…

うあっ…  
ミサトさんの  
アソコっ…

急に  
ギユウってっ！  
あああっ！



はあっ…んっ…

あっ…はっ…

学生の頃のセックス  
みたいで新鮮かも…

こんな必死な  
腰振りされるのも…





まったく…ただ好きとか嫌いとか…

そう単純な話じゃないのに…



絶対ダメ…？

そういうお約束ですから

ホントに…もうセックス…してくれない？

はい

絶対ダメですお約束したでしょう？

僕…ミサトさんのこと…好きだよ…？

ミサトさんは嫌いな…？

ねえ…ミサトさん…



こんなおばさん相手に…

刷り込みみたいになってるのね…

それじゃあ…



ミサトさんっ…！

うんっ…！

僕頑張るよっ…！

がっ



さあ早く寝て下さい明日起きられませんかよ

はい！

コンドーム…買っておかないやね…



今度の期末テストの成績が良かったら…

もう一度考えて差し上げます

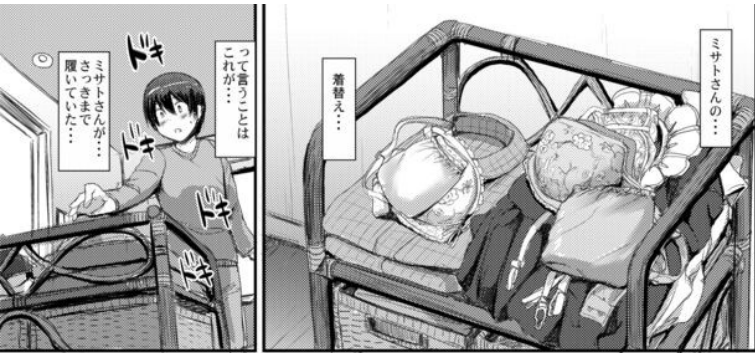
だからちゃんと勉強頑張るんですよ？

メイドのおしごと…かな…？

まあ…坊ちゃまの正しい性教育も…













これはもう...  
バレるのをわかってて  
私を試しに来てる...

ここまでされたら  
黙ってていて  
あげられないじゃない...

面倒だけど...  
そろそろ面と向かって  
叱るしかないわね...

替えの下着に  
イタズラするなんて...



坊ちやまも  
こんなモノを眺む年頃に  
なったのね

坊ちやまの義なら  
女性の身体や  
セックスには  
興味を持つのは  
おかしくないし...

となると昨日の一件は  
やっぱり坊ちやままで  
間違いない...か...

別段コレに関しては  
そつとしておく  
つもりだけど...



ごめんなさい...  
ミサトさん...



坊ちやま

目那樣にも  
何かあつたら  
キチンと叱るよりに  
言われてるものね...

お休みになる前に  
少々お話があります



対象が  
私というのは  
少々問題ね...

坊ちやまみたいな子供に  
お風呂を覗かされても  
下着をイタズラされても  
どうってことないけれど...

かといって  
家に入れて  
エスカレートしても  
面倒よね

でも直接叱りつけて  
ギクシヤクしても  
これからの仕事...  
やりづらしいし...

巨那樣に相談して  
お任せするのでも  
それはそれで  
気まずいし...  
ちよつと  
可哀想だし...

一体  
どうしたものやら...



今日坊ちやまが  
したことは  
あまりにも自分勝手  
で一方的な行為です  
備付ける行為です

お互いの同意の上で  
行うことです



もう少し坊ちやまが  
大きくなるまで  
心を通わせる女の子と  
出会って

女性の  
身体に触れたり、  
セックスしたりと  
いう行為は



坊ちやまお年頃の  
男の子ですから

でも今日の事は...  
やっではいけない  
事だということはい  
わかりますよね?

そういうコトには  
興味が湧くのでは  
ありません



坊ちやまは  
あれから毎晩  
入浴中の私の下着で  
イタズラするよりに...

それでも  
そのうち飽きるだろうと  
続見かけていたある日...

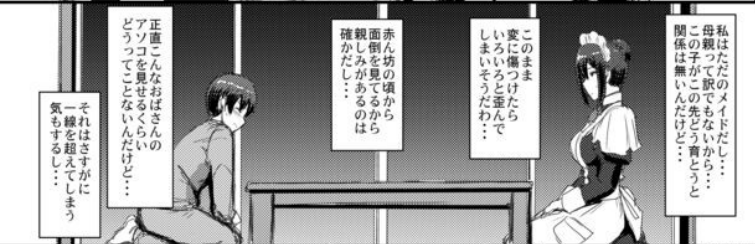
ところが  
そんな私の  
期待は虚しく...



お年頃の子の性なんて  
繊細な問題だし...

もうちょっと様子を  
みてみようかしら...

昨日のは一時の  
気の迷いしも  
しれないし...





わ…



それでは…

どうぞ  
坊ちやま



こ…これが  
女の人の…

ミサトさんの…



絶対約束するよ  
ミサトさんっ…!

う…うんっ!  
約束する…!

このまま  
興味をこじらせて…  
もし可憐生の女の子に  
悪さしたりしたら  
大ごとだものね…

ひとまずこれで…  
落ち着いてくれる  
でしょう…



明日には忘れて  
お互い通りに  
過すこと  
絶対に守れるなら…

今日は特別に…  
見せて差し上げます…

今日のごとは  
誰かに話したり…  
お友達に自慢  
したりしては  
いけません

そして  
もう一つ



はいはい



ためらいもなく  
そんな近くで…  
よつほど  
見てみたかったのね…

そういう事…  
最近無かったから  
毛の処理も  
全然してないわ…

お風呂  
入った後だから  
匂いは大丈夫だと  
思うけど…

もちろんです  
よく見たいよ…  
ミサトさん…



まあ初めて見るアソコが  
四十手前のメイドのも  
使い古しっていうのも  
ちよつと可哀想な  
気はするけれど…



私が少し見せて  
お安いものだから…

わかりました

どうせあと  
2、3年もすれば  
彼女でも出来てちゃんと  
経験する事だろうし…





来客用の  
寝室でお待ち下さい

ミサトさんがなぜ  
コンドームを持ってたのか  
って事を考えて...

支度して  
参りますので

今夜限りだし...  
済ませちゃおう...

本当に...  
今夜だけですよ  
坊ちゃま...

コンドームは...  
何個か入ってたはず...

はあ...



なんとなん  
ちよつぱり回んだのは  
後日のごとで...

その時の僕は...

はじめてのセックス...

本当に良いんですね  
坊ちゃま...

私みたいな  
おぼさんのメイドが  
初めての相手で...

うん...  
うん...

セックスのことで  
頭がいつぱいだった...



まあここまで  
してあげれば...

中学生には  
充分でしょ...

ねえ...  
ミサトさん...

アソコから透明な汁  
出てるの...  
濡れてるってこと...

な...  
そんなわけ...  
やばりそうじゃ  
ないんだよね...

ミサトさんも  
僕とセックス...



お願いっつ  
ミサトさんっ  
僕やつぱり最後まで  
してみたいよ...

これで  
やだっつ...  
なんだなく予想は  
してたけどやっぱり  
こうなっちゃったわね...

誰にも言わないのは  
約束したけど...

失態だわ...  
まさかこんな子供に  
濡れるなんて...

ダメです  
坊ちゃま...  
見ただけど  
お約束を...

絶対誰にも  
言わないから...



いいですか坊ちゃま  
セックスには道具を  
使わないといけません  
ねっつ?

それなら  
いいでしょ!!

いけません  
外に出るなんて...

坊ちゃまお持ちは  
ですら今日...  
じゃあ僕  
今から買って  
くるから...

もうこうなったら  
止まらないわよね...

お願  
いっつ  
ミサトさん...

ちゃんど約束  
守るから...

ダメだわ...













# あとがき。

性に目覚めた頃の興味って断然おっばいよりおまんこだったよね。

今でこそグーグル先生にお頼みすれば速攻で見れちゃう女性器だけでも、僕が小学校高学年から中学1年生くらいの本格的に性に目覚めた頃、無修正のおまんこを見るって大変なハードルだった気がします。

このお話はそんな年頃の記憶を振り返って、当然余計な黒歴史的なコトまで思い出してジタバタ悶絶しつつ頑張って描きました(笑)

やっぱり男子に生まれたからにははすこく女性器に興味がある時期ってあるじゃないですか。おっばいなんて捨ったエロ本でも地獄先生め〜べ〜でも、最悪お母ちゃんのも見れたけど、女性のアソコだけはなかなかたどり着けなくて、ジタバタしたな〜って懐かしく思います。

そんな多感な時期におうちに美人のメイドさんかいたら…??  
っていうのが今回のこの「メイドのおしごと。」のコンセプトです。

そもそもは同の気なしにツイッターに上げたメイドおねショタの落書きが、予想外に評判が良かったので、味を占めて何故か描いてるうちになんとなく自分の中で世界観が固まってきて、「漫画化希望！」って言ってくださる方も結構いたので、今回初めてのオリジナル同人誌として出させて頂くことになったワケです。

おかげさまで「…まあコレは商業誌じゃ出来ないよね」って内容になりました。メイドさんの汚れ(パンツでオナニーとかメイドさんからのお説教とか)メイドさんにおまんこを見せてもらって見抜きとか…僕の性的嗜好をコレでもかと言っただけに叩き込んで、昨今流行りの「エロ漫画の導入なんて短ければ短いほど良い！」という潮流に全力で逆行するエロシーンまで21ページというまさに暴挙…!! ……って思ったけどアリアでした。僕の漫画の導入が良いのはいつものコトでした(^q^)

とにかく今回の漫画は、三十路でそれなりの男性経験もあり、特にショタコンでもないという「メイドのミサトさん」という僕の中では新しいタイプのキャラクターを動かすのにとても苦労しました。

圧倒的な経験値の差を表現するべく、あえて嘴がせないし無表情を買きながら、エロシーンはキチンとエロくなるように描くのは本当に至難で、今回はネームで本当にえらく苦労しました。何度普通の「あらあらうふふイケない子ねえ♡」みたいな展開に逃げてやろうかと思ったことが(涙)

それでも出来上がって見れば、面倒臭がりつつも血の繋がらない坊ちゃまに対して本当の母親のように接するメイドさんという、僕の描きたかったモノが出来上がったので、この本を手にとって頂いた皆さんも楽しんでくれていたら良いなとマジで思います(

評判次第では次が出るかもしれないし出ないかもしれませんが、アナタの性癖に「ママ味系メイドさん」ではなく「お母さん系メイドさん」が追加されていたら良いな…!

それではまたどこかで!

2018/12/21  
「人生横滑り。」荒岸菜歩(あれきしらいほ)



# あとがき。

性に目覚めた頃の興味って断然おっぱいよりおまんこだったよね。

今でこそグーグル先生にお願いすれば速攻で見れちゃう女性器だけでも、僕が小学校高学年から中学1年生くらいの本格的に性に目覚めた頃、無修正のおまんこを見るって大変なハードルだった気がします。

このお話はそんな年頃の記憶を掘り返して、当然余計な黒歴史的なコトまで思い出してジタバタ悶絶しつつ頑張って描きました(笑)

やっぱり男子に生まれたからにはすごく女性器に興味がある時期ってあるじゃないですか。おっぱいなんて拾ったエロ本でも地獄先生ぬ〜べ〜でも、最悪お母ちゃんのも見れたけど、女性のアソコだけはなかなかたどり着けなくて、ジタバタしたなーって懐かしく思います。

そんな多感な時期におうちに美人のメイドさんがいたら…???  
っていうのが今回のこの「メイドのおしごと。」のコンセプトです。

そもそもは何の気なしにツイッターに上げたメイドおねショタの落書きが、予想外に評判が良かったので、味を占めて何枚か描いてるうちになんとなく自分の中で世界観が固まってきて、「漫画化希望！」って言ってくださる方も結構いたので、今回初めてのオリジナル同人誌として出させて頂くことになったワケです。

おかげさまで「…まあこれは商業誌じゃ出来ないよね」って内容になりました。メイドさんの汚れパンツでオナニーとかメイドさんからのお説教とかメイドさんにおまんこ見せてもらって見抜きとか…僕の性的嗜好をコレでもかと言うほどに叩き込んで、昨今流行りの「エロ漫画の導入なんて短ければ短いほど良い！」という潮流に全力で逆行するエロシーンまで21ページというまさに暴挙…!! ……って思ったけどアレでした。僕の漫画の導入が長いのはいつものコトでした(^q^)

とにかく今回の漫画は、三十路でそれなりの男性経験もあり、特にショタコンでもないという「メイドのミサトさん」という僕の中では新しいタイプのキャラクターを動かすのにとっても苦労しました。

圧倒的な経験値の差を表現するべく、あえて喘がせないし無表情を貫きながら、エロシーンはキチンとエロくなるように描くのは本当に至難で、今回はネームで本当にえらく苦労しました。何度普通の「あらあらうふふイケない子ねえ♡」みたいな展開に逃げてやろうかと思ったことか(涙)

それでも出来上がってみれば、面倒臭がりつつも血の繋がらない坊ちゃまに対して本当の母親のように接するメイドさんという、僕の描きたかったモノが出来上がったので、この本を手にとって頂いた皆さんも楽しんでくれていたら良いなとマジで思います(

評判次第では次が出るかもしれないし出ないかもしれませんが、アナタの性癖に「ママ味系メイドさん」ではなく「お母さん系メイドさん」が追加されていたら良いな…!

それではまたどこかで!

2018/12/21  
「人生横滑り。」荒岸来歩(あれきしらいほ)



おくづけ。

誌名：メイドのおしごと。

発行日：2018/12/31

発行者：荒岸来歩

印刷：FREAK